

問1	空に雲がたくさんかかっている地域では、どのような天気になることが考えられますか。			
	1. 砂あらしや霧	2. くもりや雨	3. つむじ風や竜巻	4. 晴れや快晴
問2	人工衛星の雲画像とは、どのような場所から、何を撮影したのですか。			
	1. 飛行機から地面を撮影し、道路の様子を表したもの	2. 地上から空を撮影し、星の様子を表したもの	3. 海の中から陸を撮影し、波の様子を表したもの	4. 宇宙から地球を撮影し、雲の様子を表したもの
問3	台風が近づいたときに、強い風が吹いたり、短い時間に大雨が降ったりすることによって引き起こされる、人々の生活や自然への被害のことを何といいますか。			
	1. 台風による恵み	2. 台風による災害	3. 台風の進路	4. 台風の目
問4	日本のはるか南の海上で発生し、北へ向かって進むことが多い、強い風や短い時間の大雨をもたらす気象現象は何ですか。			
	1. つゆ	2. 台風	3. 季節風	4. 夕立
問5	空にある雲が動いていくと、雨がふる地域はどのようにになりますか。			
	1. 雲が動いても、雨がふる地域はずっと同じ場所のままである。	2. 雲が動くと、すべての地域で同時に雨がやむ。	3. 雲が動くと、雨がふる地域は完全になくなる。	4. 雲の動きにともなって、雨がふる地域も変わっていく。
問6	気象観測システムであるアメダスは、主にどのようなことを調べるために使われますか。			
	1. 火山の煙	2. 海の深さ	3. 地震のゆれ	4. 雨の様子
問7	天気や雲の色、雲の量や形、雲の動く向きや速さなどを記録することを何といいますか。			
	1. 雲の観察	2. 風の調査	3. 雨の測定	4. 気温の記録
問8	台風が近づいたときに、強い風や短い時間の大雨によって起こる災害の正しい組み合わせはどれですか。			
	1. 雪がたくさん積もって、電線が切れたりする。	2. 日ざしが強くなって、地面がひび割れたりする。	3. 看板が吹き飛ばされたり、川の水があふれたりする。	4. 地面が大きくゆれたり、火山がふん火したりする。
問9	「晴れ」と「くもり」という天気のちがいは、何をもとにして決められていますか。			
	1. 気温の高さ	2. 雨の強さ	3. 雲の量	4. 風の強さ
問10	台風が近づいてきたとき、どのような天気の変化が起こりますか。			
	1. 霧が発生して、まわりが白くて見えなくなる。	2. 強い風が吹いたり、短い時間に大雨が降ったりする。	3. 冷たい雪が降り続いて、気温が急に下がる。	4. 風がまったく吹かなくなり、おだやかに晴れる。
問11	雲の観察をするときに、記録する項目として正しいものはどれですか。			
	1. 地面の温度やしめり気	2. 風の強さと空気の重さ	3. 雲の動く向きや速さ	4. 生き物の数や植物の高さ
問12	空全体を見わたしたときに、雲が空をおおっている割合のことを何といいますか。			
	1. 雲の高さ	2. 雲の量	3. 雲の重さ	4. 雲の形
問13	台風の予報円が表していることについて、正しく説明しているものはどれですか。			
	1. 台風の風が一番強くなる範囲を表している。	2. 台風が完全に消えてなくなる範囲を表している。	3. 台風の雨が一番多く降る範囲を表している。	4. 台風の中心が入ると考えられる範囲を表している。
問14	台風の進路予想図で、台風の中心が進むと考えられる範囲を円で表したものを何といいますか。			
	1. 暴風域	2. 強風域	3. 台風の目	4. 予報円
問15	宇宙にある人工衛星から地球を撮影した、雲の様子を表す画像のことを何といいますか。			
	1. 地上から見た空の写真	2. 天気図の記号	3. 人工衛星の雲画像	4. アメダスの雨量画像
問16	日本各地に置かれていて、雨の様子などを自動で調べる気象観測システムを何といいますか。			
	1. アメダス	2. 百葉箱	3. 気圧計	4. ひまわり